

若狭湾水中散步

7

京大水產實驗所 益田玲爾

ウマヅラハギ

る青黒い胆のうがくつ
いていて、これは味をそ
こなうので注意して除か
なければならない。肝は
水産実験所の周りの海で
見かけるウマヅラハギ
も、クラゲをむさぼり食
げを好んで食べる。我が
であれば、クラゲを餌にしての養殖也可能かもし
れない。
であれば、クラゲを餌にしての養殖也可能かもし
れない。

クラゲを餌に養殖も可能かも

い、着実に肥えてきていたようだ。よいことだ。

そこでふと考えた。ミズクラゲを餌にして、魚

か。養殖業のコストの大半は耳代。こう。二、三、

これまで餌の原料とされ
てきたマイワシやカタク

チワワシの漁獲量が減少してきた一方で、海の中に



宮津市越浜沖、水深10メートルで観察された
ウマヅラハギの大群。体長20セン



はクラゲかわんさとい
る。クラゲの体内には毒
があるから、利用価値
としてもぐんと高まるよ
うにも思う。活魚であれ
ば肝も刺身でいけるから
なお良い。ウマヅラハギ
が、いかが。

ができるから、付加価値としてぐんと高まるようにも思う。活魚であれば肝も刺身でいけるからなお良い。ウマヅラハギの養殖でひと山当て、「ウマヅラ最長者」と呼ばれる方が舞鶴から出てくれればうれしいと思うのだが、いかがか。